

## 富津市文化財審議会会議録

1 会議の名称	平成 24 年度第 1 回富津市文化財審議会
2 開催日時	平成 24 年 5 月 17 日 (木) 14 時 00 分～16 時 20 分
3 開催場所	富津市役所 5 階 504 会議室
4 審議等事項	別添会議録及び資料のとおり
5 出席者名	審議会委員 野中 徹 梶山林継 小坂一夫 川名 興 高梨 正 鈴木順一 濱名徳順 筑紫敏夫 笹生 衛 事務局 渡辺隆二 藤平則夫 藤江洋史 小沢 洋 斎藤光広 桐村修司
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	(理由)
8 傍聴人数	0 人 (定員 5 人)
9 所管課	教育部 生涯学習課 文化係 電話 80-1342 (2342)
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

上記会議の顛末を録し相違ないことを証するためにここに署名する。

平成 24 年 6 月 日

富津市文化財審議会

会 長 梶 山 林 継

副会長 川 名 興

文 化 財 審 議 会 会 議 録

発言者	発言内容
事務局	<p>・あいさつ。</p>
藤江生涯学習課長	<p>委員の皆様方には公私共に何かとお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。審議に入る前に本日の出欠席についてご報告いたします。本審議会委員総数 10 名、本日の出席委員は 9 名でありますので、過半数を超えております。従いまして富津市文化財の保護に関する条例第 27 条第 1 項の規定により会議が成立したことを報告します。</p> <p>それでは開会の言葉を藤平教育部長より申し上げます。</p>
藤平教育部長	<p>本日はご多用の中、委員の皆様方には本会議にご参集いただきまして誠にありがとうございます。平成 24 年度におきましても皆様方の専門的な知見を活かしたご意見をいただきたくよろしくお願い申し上げます。</p> <p>ただいまより平成 24 年度第 1 回文化財審議会を開催いたします。よろしく願いいたします。</p>
藤江生涯学習課長	<p>続きまして委嘱状の交付を行います。教育長が委員の皆様方のもとへ参りますので、お一人ずつ自席にてお受け取りください。</p> <p style="text-align: center;">～委嘱状交付～</p> <p>続きまして渡辺教育長よりご挨拶申し上げます。</p>
渡辺教育長	<p>改めましてこんにちは。重なりますけれども委員の皆様方にはお忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。また、ただいま 2 年前と全く同じ方々に委嘱状を受け取っていただきました。本当にありがとうございます。</p> <p>先生方ご存じのとおり、富津市の文化財、非常にたくさんありますけれども、その保存や活用という面ではなかなか思うにまかせず、委員の皆様にも頭を悩ませてしまっているのだらうと思っています。なんとか計画的にできるところから事業を進めてまいりたいと思っていますので、どうかご指導の程よろしくお願いしたいと思います。</p> <p>後ほど話があると思いますが、昨日、文化庁の調査官と県文化財課の職員が、内裏塚古墳群の視察に来てくださいますして、市内の史跡を巡りながらいろいろとアドバイスをしてくださいました。是非そのような話も含めて、今後の文化財行政をどのようにしたらよいか、率直なご意見をいただければありがたいと思います。それから大変申し訳ないのですが、所用によりこのあと退席させていただきます。</p>

<p>藤江生涯学習課長</p>	<p>ことをお許してください。よろしく申し上げます。</p> <p>続きまして、本年度第1回目の会議でもあり、事務局の異動もございましたので、自己紹介に移りたいと思います。</p> <p>～自己紹介～</p> <p>それでは会議に入る前に小沢文化係長より資料の確認をさせていただきます。</p>
<p>小沢文化係長</p>	<p>本日お配りした資料ですが、3部に分かれております。</p> <p>～資料の確認～</p>
<p>藤江生涯学習課長</p>	<p>市の公開条例に基づく本会議の公開について、ご説明いたします。</p> <p>～富津市情報公開条例に基づく公開の説明～</p> <p>富津市情報公開条例により本会議は情報公開の対象となります。後日会議録を確定する必要がありますので、後ほど会長が決まりましたら、会議録署名人を指名いたします。また会議録の作成のため、本日の会議内容を録音させていただきますことをご了承願いたいと思います。</p> <p>富津市文化財の保護に関する条例第26条3項の規定により、「会長は、審議会を代表し、その会務を総理する。」となっておりますが、委員の再任にあたり、現在、会長・副会長は不在となっております。会長が決まりますまでの間、藤平教育部長が議長を務めさせていただきますのでよろしく申し上げます。</p>
<p>藤平教育部長</p>	<p>それでは会長が決まるまでの間、議長を務めさせていただきます。</p> <p>これより会議次第の4、会長・副会長の選出を行いたいと思います。初めに会長の選出を行います。会長の選出は富津市文化財の保護に関する条例第26条2項で、委員が互選するとなっております。どなたかご意見等ございましたらよろしくお願いたします。</p>
<p>高梨委員</p>	<p>引き続き楢山先生に会長をお願いしたいと思います。</p>
<p>藤平教育部長</p>	<p>ただいま高梨委員から、引き続き楢山先生に会長をお願いしたいとのご発言がございましたがいかがでしょうか？</p>

	<p style="text-align: center;">～一同、異議なしの声～</p> <p>それでは引き続き会長を楢山先生にお願いしたいと思います。</p> <p>これからの議事については、会長に議長をお願いします。</p>
楢山会長	<p>前回同様、会長を務めさせていただくことになりました。よろしくをお願いします。</p> <p>それでは副会長の選出を行います。どなたかご意見ございますか？</p>
野中委員	<p>経験豊富な川名委員にお願いできればと思います。</p> <p style="text-align: center;">～一同、異議なしの声～</p>
楢山会長	<p>副会長は川名委員に決定しました。</p> <p>次に議事録署名人の選任についてですが、今回は会長・副会長でお引受けします。</p> <p>それでは早速本日の議題に入りたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議題(1)平成 23 年度文化財審議会事業報告について</li> <li>・ 議題(2)平成 23 年度文化財保護事業報告について</li> </ul> <p>これら 2 議題については、関連がありますので一括議題とします。事務局より説明願います。</p>
小沢文化係長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議題(1)平成 23 年度文化財審議会事業報告について</li> </ul> <p>それでは資料の 2 頁をご覧ください。</p> <p style="text-align: center;">～資料をもとに事務局による説明～</p> <p>通常、文化財審議会は年 4 回開催しておりますが、平成 23 年度は計 3 回の実施となりました。</p> <p>第 1 回目審議会を平成 23 年 5 月 19 日(木)に、市役所 2 階第 1 委員会室にて開催。議題としては 4 点。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成 22 年度文化財審議会事業報告について</li> <li>(2) 平成 22 年度文化財保護事業報告について</li> <li>(3) 平成 23 年度文化財審議会事業計画について</li> <li>(4) 平成 23 年度文化財保護事業計画について</li> </ol> <p>当時、出来たばかりの青堀駅東口史跡情報案内所と案内板等を現地視察いたしました。このうち史跡情報案内所については、昨年 6 月 1 日に「古墳の里ふれあい館」として一般に公開となりました。</p>

第2回目は平成23年7月21日(木)に、市役所5階502会議室にて開催。議題は文化財指定候補物件の確認と個別的検討ということで、仏像4件、やぐら3件、古墳5件、文書関係3件、その他4件、計19件について実施しました。

また、内裏塚古墳群の保存整備計画の方向性について採り上げました。

さらに、飯野収蔵庫内の民具類の鑑定と選別ということで、飯野収蔵庫が老朽化により解体する運びとなりましたので、その収蔵民具を選別して飯野小学校の余裕教室へ運び入れ、郷土資料室として有効活用していくことになったことに先立ち、資料の確認作業を行いました。その後、8月17日には実際に選別した民具の運び出しを、PTAの方等の協力も得ながら行いました。ということで、現在は飯野小学校の3階に郷土資料室が開設し、子どもたちがいつでも民具を見られる状態になっております。

第3回目は平成23年12月15日(木)に、『富津・君津地域の社寺彫刻』と題した視察研修を実施。君津地方社会教育研究会の文化研究部会と合同で実施しました。講師は彫刻家の稲垣祥三氏にお願いしました。視察箇所は9箇所。

- (1) 大福寺(富津市上飯野)
- (2) 飯野小学校郷土資料室(富津市下飯野)
- (3) 笹塚観音堂(富津市二間塚)
- (4) 金蔵院(富津市本郷)
- (5) 琴平神社(君津市下湯江)
- (6) 禅定院(君津市小山野)
- (7) 八雲神社(富津市岩坂)
- (8) 見性寺(富津市相川)
- (9) 三柱神社(富津市竹岡)

稲垣氏の詳細な説明を受けながら見学しました。

以上が平成23年度の文化財審議会事業報告でございます。

続きまして議題(2)の平成23年度文化財保護事業実施状況報告に移ります。

- ・議題(2)平成23年度文化財保護事業報告について  
それでは資料の3～4頁をご覧ください。

～資料をもとに事務局による説明～

○天然記念物「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業

実施額 2,460,000円

(君津市・富津市の共同事業、総額 4,473,000 円)

事業概要：①被害防止…既設電気柵の維持管理  
被害多発時期の追上げの実施  
被害実態調査

②生態調査と個体数管理

③環境改変と生息環境調査

事業委託先：天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団

この事業は毎年継続して実施しているのですが、これまで調査で追及してきた所謂 T-1 群という高宕山の指定地周辺にいた群れが徐々に移動してまいりまして、現在は、指定地あるいは準指定区域から外れた状況になっております。それに変わって石見堂群という群れが指定地の周辺に現れるようになっていて、という変化が最近の状況であるようです。そしてこの事業は、いろいろな問題も起きておりますので、より効果的に事業を進めていくため、今年の 10 月から月 1 回の定例事務局会議を行うことになりました。富津市・君津市の事務局担当者と県文化財課の担当、そして調査団のメンバーで構成され、時々の問題点を掘り下げていくとともに、事業の目的を明らかにしようということで活発な議論を重ねているところです。

○市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業）

実施額 3,074,000 円

（発掘）

実施概要：個人住宅建設に伴う確認調査

神明原遺跡 3 26/180 m<sup>2</sup>

富士見台遺跡 9 23/261.15 m<sup>2</sup>

計 2 件 49 m<sup>2</sup>

調査主体 富津市教育委員会

いずれも個人住宅建設に伴って実施したものです。

（整理・報告書作成）

飯野陣屋本丸跡

北笹塚遺跡 5

蕨塚古墳

野々間古墳

計 4 件

平成 22 年度事業で調査した遺跡の整理作業と報告書作成を行いました。報告書名は『平成 23 年度富津市内遺跡発掘調査報告書』です。

○民間開発発掘調査事業

総額 1,364,164 円

調査件数 2 件

実施額 1,011,198 円  
実施概要：KDDI 携帯電話基地局建設に伴う確認調査  
東天王台遺跡 7 上層 42.25 m<sup>2</sup>  
下層 4/42.25 m<sup>2</sup>

実施額 352,966 円  
実施概要：社会福祉施設建設に伴う確認調査  
東天王台遺跡 6 (整理・報告書作成)

調査主体 富津市教育委員会

以上が昨年度の埋蔵文化財調査事業です。発掘調査内容については、担当者の桐村からご説明いたします。

桐村主査

それでは別添の平成 23 年度富津市内遺跡発掘調査事業についての資料をご覧ください。

～資料をもとに説明～

平成 23 年度は市内遺跡事業で 2 遺跡、民間事業で 1 遺跡、計 3 遺跡の発掘調査を実施しました。まず市内遺跡発掘調査事業についてご説明します。いずれも個人住宅建設に伴って実施したものです。

・神明原遺跡 3

実際に住宅が建てられる場所以外に確認トレンチを設定して調査しました。その結果、調査区を南北に走行する近世以降の溝跡 2 条を確認しました。

・富士見台遺跡 9

神明原遺跡 3 同様、実際に住宅が建つ場所を除いた部分に確認トレンチを設定しての調査。縄文時代のピット群を確認しました。遺物包含層からは、縄文時代早期末～前期、後期の土器が出土しました。

次に民間開発事業で実施した東天王台遺跡 7 についてご説明します。

・東天王台遺跡 7

携帯電話の無線基地局建設予定地全域の確認・本調査を実施しました。道路の開削等による攪乱が著しかったのですが、方形プランの住居跡 2 軒とピット 75 基を調査しました。出土した土器片から、縄文時代早期末～前期初頭の遺構と考えられます。

小沢文化係長

以上で平成 23 年度に実施した発掘調査概要報告を終わります。

続きまして資料の 4 ページをご覧ください。

～資料をもとに説明～

○文化財周知板設置事業

実施額 72,975 円

事業概要：市指定文化財説明板の設置 2 か所

- ・原口照輪生誕地（川名）
- ・小沢家文書（本郷）

実施額 84,000 円

- ・内裏塚古墳史跡案内標識設置（大堀亀下）

指定文化財の周知板については、一応、一通りの設置作業は終えておりますので、現在は既設のものが劣化したことによる付替えを行っている状況です。さらにまちづくり交付金事業によって付け替えられた道路の交差点に、内裏塚古墳の案内標識を設置いたしました。

○富津市指定文化財保存整備事業

- ・内裏塚古墳墳丘部樹木伐採

実施額 180,000 円

○指定文化財管理事業

- ・県指定物件 5 件、市指定物件 17 件、計 22 件に対する維持管理費を報償費として支出

実施額 118,200 円

指定文化財のうち、維持・管理が必要なものに対して、これまでは一部補助金として交付していたのですが、平成 23 年度からは報償費というかたちに改めました。

○文化財・文化財施設環境整備事業

実施額 8,400,000 円

- 実施箇所：
- ・飯野陣屋土墨樹木伐採
  - ・笹塚 1・2 号墳樹木伐採
  - ・内裏塚古墳前方部周溝部草刈
  - ・弁天山古墳墳丘草刈
  - ・上野塚古墳墳丘草刈
  - ・大貫文化財収蔵庫周辺草刈
  - ・飯野文化財収蔵庫周辺草刈

平成 21 年度から 3 カ年事業として県の緊急雇用創出事業補助金を活用して実施したものです。

とくに飯野陣屋の土墨樹木については、かなり大掛かり

	<p>に実施しておりますので、これまでの陣屋の景観とは大きく変化しています。</p> <p>○青堀駅史跡情報案内所「古墳の里ふれあい館」整備活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各古墳の写真・解説パネルを掲示</li> </ul> <p>実施額 0円</p> <p>昨年5月19日の文化財審議会でご覧にオープン直前の状況を見ていただきましたが、6月1日に開館式が行われ、一般供用が始まりました。開館後は、内裏塚古墳群ガイドボランティアの方が午前中、詰めているような状況になっています。</p> <p>以上が平成23年度の文化財保護事業実施状況報告でございます。</p>
<p>梶山会長</p>	<p>ただいま報告を受けた議題(1)・(2)について、質問等をお受けします。何かございますか？</p> <p>では私から質問させていただきます。</p> <p>先ほどの発掘調査概要報告の中で、住宅の建つ部分を除いた場所にトレンチを設定したとのことであったが、昔はむしろその部分の調査を行っていたはずであるが？</p>
<p>桐村主査</p>	<p>現在の個人住宅の調査というものは、極力基礎部分を外して、建物に直接影響を及ぼさないような調査方法に変化してきています。後々、調査したために家が傾いたなどという問題が起きても困りますので。住宅については、県の基準でいう十分な保護層が確保されさえすれば建築可ということになります。ただし、浄化槽設置個所については、必ず2m以上の深堀の土木工事を伴いますので、調査対象としています。</p>
<p>笹生委員</p>	<p>木造建築物が恒久的な構築物であるという扱い方を、文化庁がある段階で外したという経緯があるのです。ですから木造建築物の場合、下に影響が及ばない範囲においては掘らなくても良いということになったのです。</p>
<p>梶山会長</p>	<p>木造住宅の場合、その下の調査はやらなくても良いということ？</p>
<p>桐村主査</p>	<p>遺構確認面までが浅く、県の基準の30cmという十分な保護層が確保できないのであれば、それは調査の対象にはなるのですが、その場合、逆に盛土によって保護層を確保してもらったうえで工事着工という方法を取っています。</p>

梶山会長	木造建築の基礎はそんなに深くまで入らないという前提での調査なのか？
笹生委員	調整段階で事前に設計図を出してもらって、どの位地下に基礎が及ぶかということを見極めてから調査に入ることになりますので。
梶山会長	我々の知っている発掘調査方法とは随分変わってきているなと感じます。 何か他の委員さんで意見等ございますか？
笹生委員	東天王台遺跡7で調査した方形の住居跡は、私が10年以上前に掘った近接の富士見台遺跡でも出ている。方形プランで床面が2段掘り込みになっているものと思うが。おそらく縄文早期末～前期初頭にかけての所産で、結構良い資料であるはず。富津市の犬吠のあの台地に、該期の大きな集落が広がっているという証なので、類例としても非常に珍しい。調査して報告書を刊行して終わりではなく、市としてもきちんと把握しておいていただければと思う。
桐村主査	わかりました。
梶山会長	飯野陣屋の伐採の件について。陣屋の土塁の樹木を全て伐採したということか？
小沢文化係長	はい。かなりな面積になっております。
梶山会長	土塁上の樹木は余り大きくなり過ぎてはいけないし、かといってそれなりにあった方が良いでしょう。
小沢文化係長	マテバシイはとにかく生育が早いものですから、できればツツジ等の低木があれば一番良いのかな、と思います。全く樹木がなくなってしまうと土の流出という問題も起きてきますし。
野中委員	伐採した木はどのように処理したのか？
小沢文化係長	処理費用も含めて委託しておりますし、また最近では温泉業者等、薪として無料で引き取ってくれるところもできています。
笹生委員	先ほど小沢係長も言うておりましたが、樹木がなくなってしまうと土砂の流出ということにもなりかねないので、低木とか芝で被覆してしまうということもありなのかなど。

	<p>財政が厳しい中でなかなか難しいとは思いますが、ご検討いただければと思います。</p>
<p>梶山会長</p>	<p>抜根してしまったわけではないですよ？ 切株は残っているのか？</p>
<p>小沢文化係長</p>	<p>はい、残っています。</p>
<p>梶山会長</p>	<p>それならばトウジイは直ぐに芽が生えてくるから。</p>
<p>藤江生涯学習課長</p>	<p>ですから、トウジイの木はある程度の大きさになりましたら、先を摘まんでいくといった管理の方法しかないのかなと考えています。</p>
<p>笹生委員</p>	<p>根を掘り起こしてしまうと土塁を傷めてしまいますからね。</p>
<p>梶山会長</p>	<p>他に何かございますか？ ないようでしたら次の議題に移ります。</p> <p>・議題（3）平成24年度文化財保護事業計画について</p> <p>事務局より説明願います。</p>
<p>小沢文化係長</p>	<p>それでは資料の5ページをご覧ください。</p> <p>～資料をもとに事務局による説明～</p> <p>○天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業      予算額 2,460,000円      事業内容：①被害防止事業                ②生態調査と個体数管理                ③環境改変と生息環境調査      事業委託先：天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団      前年に引き続き実施いたします。</p> <p>○市内遺跡発掘調査事業（国庫補助事業）      予算額 3,074,000円      実施内容：個人住宅建設等に伴う確認調査                300/3,000㎡                重要遺跡範囲確認調査                内裏塚古墳群総括報告書作成</p>

調査主体 富津市教育委員会

○民間開発発掘調査事業（事業者負担分）

予算額 4,055,000 円

事業内容：各種民間開発事業に伴う確認・本調査

62.5/625 m<sup>2</sup>（確認）

625 m<sup>2</sup>（本調査）

調査主体：富津市教育委員会

○文化財周知板設置事業

予算額 73,000 円

事業内容：既設の指定文化財説明板の老朽化に伴う付替え並びに新規指定物件の周知板の設置 2 か所（場所は未定）

○指定文化財管理報償費

予算額 119,000 円

事業内容：県指定物件 5 件、市指定物件 17 件、計 22 件に対する維持管理費の一部助成

○文化財・文化財施設環境整備事業

予算額 500,000 円

内裏塚古墳・弁天山古墳・笹塚 1・2 号墳等草刈

各文化財収蔵庫周辺草刈

飯野陣屋土塁樹木伐採

平成 21 年度から 3 カ年にわたり県の緊急雇用創出事業ということで、840 万円という全額県の補助金がついていたのですが、事業が終了しましたので、今年度からは市の単費にて行うというものになりました。

○史跡用地取得事業

予算額 8,063,000 円

事業内容：内裏塚古墳前方部西側周溝の私有地を国庫補助事業によって買上げる

以上が平成 24 年度の文化財保護事業です。

楢山会長

ただいま説明を受けた議題（3）について、質問等をお受けします。何かございますか？

私から一つよろしいか？ 民間開発事業については何か予定はあるのか？

小沢文化係長

今現在、1 件話が持ち上がっています。二間塚地区における携帯電話無線基地局建設に伴い、協議を進めています。

高梨委員	<p>内裏塚古墳の用地取得の関係で一つ。今年度の買上げ予定地は県道に面した周溝部ということですね？ あの土地に空スペースというようなものが作れるのであれば、あの古墳については駐車場もないし、見学の際、非常に役立つと思うのだが。</p>
小沢文化係長	<p>昨日も文化庁の調査官による現地視察が行われましたので、その辺のお話もさせていただきましたが、国庫補助金で買い上げた土地については、駐車場として造成するような行為は基本的に不可能であるということでした。ただし、現状として既に砂利が敷いてある状態になっておりますので、今後、暫定的に使用させてもらえるよう協議していきたいと考えています。</p>
梶山会長	<p>最終的に旧状復元ということになれば、周溝として復元していくかたちになるのであろうが、当面は現状のまましていくということになるだろうか。</p> <p>それから高宕山のサルについて。指定地から出てしまえば文化財ザルではなくなってしまう、野生ザル扱いになってしまうという話を聞いたことがあるが？</p>
小沢文化係長	<p>あくまでも区域指定ですから、そこから出たものについては、T-1 群であっても駆除というか、捕獲の対象にはなってしまいます。そうならないように区域外には準指定区域とか、県自然保護課によるコアエリアとかいった二重三重の網がかけられているのですが。</p>
梶山会長	<p>他に何かございますか？</p>
小坂委員	<p>文化財周知板の 2 か所というのは決定しているのか？</p>
小沢文化係長	<p>現在、老朽化の激しいものから順次進めております。先日巡回したのですが、峰上城と井上宗端の墓の付け替えを考えております。またこれは予算が付けばの話なのですが、文化財指定外の物件で、所有者から設置して欲しいという声も上がっていますので、今後それらについても設置していく方向で考えています。</p>
梶山会長	<p>他に何かございますか？ ないようですので、次の議題に移ります。</p> <p>・議題（４）平成 24 年度文化財審議会事業計画について</p>

小沢文化係長

事務局より説明願います。

それでは資料の7ページをご覧ください。

この計画については、事務局（案）というかたちで提示させていただきます。その後、審議委員の皆さんの話し合いで決めていただければ良いと思います。

～資料をもとに事務局による説明～

第1回の審議会は本日開催しています。

- (1) 平成23年度文化財審議会事業報告について
- (2) 平成23年度文化財保護事業報告について
- (3) 平成24年度文化財審議会事業計画について
- (4) 平成24年度文化財保護事業計画について

第2回目は6月下旬～7月上旬の実施を予定してみました。

〇〇家収蔵資料の調査

- (1) 資料目録の作成
- (2) 今後の保管場所の検討

過去に当文化財審議会の会長を務められたこともある故〇〇先生の収蔵品の調査を行ってみてはどうかと考え、予定に入れてみました。これについては、本年2月に一度、楢山会長とご一緒して、故先生の奥様とお会いし、文化財審議会として資料の調査をさせていただけないか？という打診をさせていただきます。奥様には快くご承諾いただけましたので、是非実現させたいと考えているところです。

第3回目は11月中の実施を予定しております。

君津地方博物館・資料館の特別展・企画展見学を考えております。

- (1) 木更津市郷土博物館金のすず
- (2) 袖ヶ浦市郷土博物館
- (3) 君津市久留里城址資料館

第4回目については、年度末に実施し、毎年行っているような事業報告と次年度事業の検討を中心に考えています。

以上、事務局（案）として提案させていただきましたので、委員の皆様でご検討いただければと思います。

<p>梶山会長</p>	<p>ただいま事務局から提案がありました。  それでは第2回・第3回の内容についていかがですか？  私から先に述べさせてもらいますが、文化財の新指定、あるいは既指定物件の見直しとか現況調査といった機会もやはり必要なのではないかと考えます。</p>
<p>野中委員</p>	<p>ここ数年審議してきた新指定候補物件はその後どうなっているか？</p>
<p>小沢文化係長</p>	<p>今まで数年にわたってご審議いただいた物件が、まだそのままになっているのではないかとのお話なのですが、その中で所有者との調整がついたもの、とくに仏像関係ですが、これについては今年度中に指定していこうということで動いております。また、他の物件では管理上の問題点等により、一部簡単には進んでいけないものがございます。</p>
<p>濱名委員</p>	<p>先日新聞に、〇〇〇やぐらの記事が載っていました。これについては当審議会においても何度も採り上げて審議してきましたが一向に進展していない。そのうちに地元の方から整備の話などが出てくるとなると、文化財審議員は何をやっているのか？といったことにもなってしまう。委員会の方で結論が出たものについては、早く進めていくべきではないかと思うのだが。</p>
<p>梶山会長</p>	<p>あれについては、指定すれば地元がいろいろと協力してくれるであろうと思われるし。</p>
<p>小沢文化係長</p>	<p>ただ、あの件については時期的な問題が確定できないことがやや難点ではあるのですが。</p>
<p>梶山会長</p>	<p>その点についてはある程度類例から推して、こういう時期で良いのでは、というようにする方法しかないのかもしれない。他の例からみて、というような。</p>
<p>小沢文化係長</p>	<p>区長の方からは、指定如何にかかわらず、周知板だけでも作ってもらえないかというお話がございました。それについては考慮しているところです。</p>
<p>梶山会長</p>	<p>海堡なども県議会で採り上げられていろいろ問題になっているようであるが。あれも難しいそれなりの問題を抱えているようである。価値があるのは解っている、管理上の問題等、何かとあるのだろうと思っている。</p>

笹生委員	保存するにもかなり大規模な工事が必要になってきますし、難しいものと思います。
梶山会長	どういう処理をしたら良いのか、確かに難しいのかもしれないが、しかし考えないわけにはいかないであろうし。
笹生委員	やるとなると富津市だけの問題では済まなくなってくるのでしょうかね。ところで例の文化庁の報告書というのは出来たのですか？
小沢文化係長	<p>まだのようです。</p> <p>これより先は個人情報扱うことになりますので、非公開とさせていただきます。</p> <p>一同、了承</p> <p>～これより内容非公開</p> <p>非公開部分終了～</p>
梶山会長	それでは本日の議題としては以上でよろしいですか？
小沢文化係長	この後、報告がございます。
梶山会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告（1）国登録有形文化財「加藤家住宅」について</li> </ul> <p>事務局より報告願います。</p>
桐村主査	<p>それではご説明いたします。</p> <p>先ほどから何度も話題に上っていますが、平成24年4月20日に開催されました国の文化審議会を經まして、富津市笹毛1番地に所在する「加藤家主屋」1棟を登録文化財に登録するよう文部科学大臣あてに答申がございました。位置的には八幡の鶴峰八幡神社から笹毛へと抜ける県道256号線沿いに建つ和風住宅です。この家は明治時代後期に高橋萬兵衛という方が、君津市の小糸地区に元々建てられていたものを、現在の場所に移築したものです。その後、東京の畜産業者が別荘として購入したのですが、永らく放置していたものを、平成16年に現当主が入手し、今に至っています。この家が現在の場所に移築された明治後期、乃木希典が寄寓したという記録が残っています。その時に乃木將軍によって詠まれた歌が、高橋萬兵衛さんのご子孫のお宅に残されています。棟札等も見つからないため、残</p>

	<p>されている記録類からこの家の建築年代が確実に追及できるのは明治後期という時期なのですが、伝承では久留里藩の藩医の家として久留里城下にあったものとされています。建物の特徴は、瓦葺き寄棟造りの平屋建てで、正面には起くり屋根の玄関が付けられています。玄関の破風には懸魚と母屋尻の彫刻が付いていますが、そのモチーフなどから 19 世紀初頭から房総を中心に名を馳せた後藤流の彫師の作であると見られています。建物内部に使用されている木材等も非常に高級な材で構成され、また室内の造作なども高く評価されています。よって、登録有形文化財の登録基準「一、国土の歴史的景観に寄与しているもの」に該当すると判断されたものです。以上です。</p>
<p>梶山会長</p>	<p>続いて（２）竹岡メソジスト教会について報告願います。</p>
	<p>・報告（２）竹岡メソジスト教会について</p>
<p>桐村主査</p>	<p>それではご報告いたします。 この教会は県内でも数少ない明治時代後期に建てられた擬洋風の教会建築で、富津市史にも採り上げられた教会でした。竹岡に所在し、建築年代は明治 35 年。建築当初は内村鑑三が礼祭司を務めるなど、内村とも非常に深いつながりがあった由緒ある教会だったのですが、平成 24 年 4 月、残念ながら老朽化によって取り壊されてしまいました。取り壊しには私も立ち会いましたが、その際とても貴重な発見がありました。建物の基礎は、金谷石の棹石を 3 段に積み上げたものでしたが、そのうちの一本の棹石の中に細工がしてありました。四角く削り抜いた穴の中にブリキの缶が埋め込まれており、定礎が出てきたのです。缶の中には当時の聖書や賛美歌集、また土地購入証書、建築費寄附者名簿等が納められていました。これらは、現在、信者代表の方が大切に保管なさっています。取り壊しに立ち会った際に撮った写真は、また別の機会に皆様にご覧いただきたいと思います。以上です。</p>
<p>梶山会長</p>	<p>既に取り壊してしまっているので残念としかいいようがないが、見つかった定礎は貴重な資料になるかもしれない。 報告（１）の加藤家住宅は、委員会では是非見せていただくことにしましょう。</p>
<p>小沢文化係長</p>	<p>次回の審議会で行うことも視野に入れながら調整したいと思います。</p>
<p>梶山会長</p>	<p>それでは報告（３）に移ります。事務局お願いします。</p>

・報告（3）文化庁調査官の内裏塚古墳群視察について

小沢文化係長

ご報告いたします。昨日、5月16日に文化庁の埋蔵文化財部門の林調査官による現地視察がございました。内容としては内裏塚古墳群の群としての国指定に向け、史跡指定の方向性あるいは整備の方向性について、実際に現地を視察しながらご指導いただいたものでございます。当日は丸一日かけて古墳群のほぼ全体を見て回るとともに、史跡情報案内所や富津ふるさと展示室にも足を延ばしてもらうという非常にハードスケジュールとなったのですが、個々の古墳について、どのような整備を行ったらよいか等、今現在、周溝部に建っている家などの状況をみていただきながらご指導いただきました。また、調査官が千葉市以南に初めて来られたということでしたので、富津岬等もご案内いたしました。調査官は非常に明快といいますか、ハッキリと意見を述べてくださいました。また、今年度は内裏塚古墳群総括報告書というものを補助事業によって作成するのですが、中身については今後の群としての保存整備を前提としたうえでの総括報告書ということで、それをどのようなかたちで作成していくかについても併せてご指導いただきました。

また、それに先立ち教育部内の検討会といたしまして、内裏塚古墳群保存整備事業検討委員会なるものを今年度からやっというところ、先日、教育長・部長以下、部内で協議したところです。その時の話として、内裏塚古墳群をなぜ群として指定するのか？といった史跡的な価値、それがどこにあるのか？というところから始まりまして、群として保存整備していく意味や、国指定に向けて踏み出した時に考えられる様々な問題点について、財政的な面も含めて話し合いました。今まで昭和40年代から言われ続けながらも、群としての保存整備というものが一歩踏み出されてこなかった原因というものがあるわけですし、市街化区域と一部重なっていることも要因の一つと考えられます。本市と同様な問題を抱えているのは関東地方の中にはなくて、大阪の百舌鳥・古市の古墳群、市で言いますと堺市・羽曳野市・藤井寺市といったところが抱えている問題と結構似ているのではないかな、ということも含めての話になりました。平成24年度はこの検討委員会についても定期的に実施していこうという状況になっておりますので、また文化財審議会の委員の皆様にもご指導いただきたいと考えております。以上です。

藤江生涯学習課長

補足ですけれども、群として保存するとき、古墳の数が非常に多いものですから、いろいろな活用方法もあるだろ

<p>梶山会長</p>	<p>うということで、国や県は、市街化区域内における古墳整備のモデルケースにしたいというようなことをおっしゃっておいりました。その際にはまたいろいろな面でご協力いただけるということでした。</p> <p>私は前からいろいろと関係しているので、ある程度は承知しているのだが、委員の先生方、何かございませんか？</p>
<p>笹生委員</p>	<p>私も県職時代、いくつか史跡指定の経験はしてきました。内裏塚古墳群は市街地の中にあるということ、また広範囲に及んでいるということですので、基本的には教育委員会だけではなかなか大変だろうと思います。ですから是非、都市計画部局等、首長部局と密に連携を執りながら動いていただきたい。</p>
<p>藤江生涯学習課長</p>	<p>ですからその整備計画につきましても、教育委員会サイドの計画ではなく、富津市全体としての計画を立ててまいります。</p>
<p>小沢文化係長</p>	<p>ちょうど平成 18 年から 5 年間にわたり、まちづくり交付金事業で、青堀駅周辺の都市再生整備計画という文言のもと、「古墳を活かしたまちづくり」ということを行ってまいりました。ガイドブックやマップ、あるいは看板・道路標識、青堀駅の自由通路等、いろいろなことを手掛けてきました。その甲斐もあって一般市民にもかなりこの街には古墳というものがたくさんあるのだということが認識されるようになりました。さらには小学校の出前授業等の成果もあり、一昔前に比べれば内裏塚古墳群というものがかなり広く周知されてきたのではないかと期待を抱いているところです。この辺で話を前進させて行っても良いのかなとは思っています。</p>
<p>梶山会長</p>	<p>あのガイドブックは全戸配布でしたね？あれは良かった。かなり市民は影響を受けています。</p> <p>保存整備には管理や経費といった問題もあるし、最終的にはある程度は買上げせざるを得なくなるであろう。そうになると予算の問題がかなりウエートを占めてくる。ただそれは 10 年～20 年計画の中で行っていけば良いことで、1 年や 2 年の問題ではないので良いとは思いますが。要するに計画を作っていくということが今まさに重要なことであるので、今まで折角残ってきている古墳群なので、是非これからも保存していけるように頑張っていきたい。</p>
<p>小沢文化係長</p>	<p>昨日の文化庁視察でも話題になったのですが、一番ネッ</p>

クになってくるのは周溝部の保存整備をいかに行っていくか？という問題です。内裏塚古墳群の主要古墳はそれぞれ周溝が二重になっていて、大変面積が広いものですから、その部分を全てということになるとまた予算的にも如何なものかと。九条塚・三条塚・稲荷山等、今現在、市の指定になっている古墳は墳丘部の指定に限られているわけです。今までの開発の経緯を見ておきますと、県指定史跡でさえそうなのですが、周溝部にどんどん家が建ってしまっています。例えば姉崎の二子塚などは、周溝部については一部、記録保存にせざるを得ないという状況にあります。市や県指定のレベルですと、ある意味墳丘部だけが守られれば周溝部については仕方がないということにもなってしまうのが現状です。その点、現在、内裏塚古墳の買上げを行っておりますが、その中で文化庁の考え方は、二重周溝ならその全域を指定して保存しなければならないという考えのようです。本市のような自治体では、それがプレッシャーにもなっているのですが、裏を返せばそれだけ面倒を見てもらえるということにもなるのです。買上げについては8割補助という補助金制度もあるわけですから。保存整備の問題も含めて、どのように整備をするのか？周溝については、今実際に水が溜まっている低湿地状態になっているような箇所をどのような方法で行っていくか？等、昨日、再三にわたって話が出たところでございます。

梶山会長

面積が広いわけであるから。結局それを公園的な利用にしていくしかない。今度は管理していくのもまた大変なことであろうし。やはり余程の覚悟は必要だと思う。

高梨委員

内裏塚古墳群は現在分かっているだけでも48基あるわけだが、稲荷山のように非常に残りのよいもの、あるいはほとんど壊滅状態にあるもの等、様々である。全てを同じように扱うということは到底無理であろうから、出来るものから順に行っていくって欲しいと思う。

藤江生涯学習課長

今回、計画を立てるわけですが、例えば指定や用地買収の優先順位等、総合的に含めた計画を立ててまいりますので、その時にはまたご指導の程よろしくお願いいたします。

梶山会長

ひとつよろしく申し上げます。古墳群については以上でよろしいですか？ないようでしたら次の7. その他に移りたいと思います。

7. その他

野中委員	<p>何かございますか？</p> <p>岩波新書で古代史のシリーズが出ているが、その中で 100 m 級の古墳は見せる古墳と紹介されている。やはり市民に分かるように、「あっ、わが街にはこんな古墳があったのか？」と見せる古墳に工夫するのも一つの方法だと思うのでよろしくお願ひしたい。</p> <p>それから一つお聞きしたい。旧法務局は今現在どうなっているのか？</p>
小沢文化係長	<p>平成 23 年度から、あの施設の半分を富津市商工会に使わせるといふことに決まり、現在は市の収蔵庫と半々で使用しています。それに伴い、収蔵遺物の一部を千種新田の収蔵庫へ移設しています。湊の収蔵庫については、市が所蔵する遺物類の中でも比較的貴重な資料が納められています。今後、それらの資料の有効活用についてもまた考えていかなければなりません。</p> <p>話は変わりますが、内裏塚古墳群の遺物に関しても、東京国立博物館が持っているものは良いのですが、大学の研究室が持って行ったことになっているもの等、実際所在が不明になってしまっているのではないかという資料があるのではと思っています。あれだけ人骨が出土したと書いてあるのに、その人骨がどこに行ってしまったのか？と思っています。</p>
梶山会長	<p>あれは聖マリアンヌ医科大が持って行ったはず。かなりの数が行っている。何十体はあるのではないか。</p>
小沢文化係長	<p>割見塚の資料も？早稲田大学が調査しているときにも聖マリアンヌ医科大に持って行っているのですよね。</p>
野中委員	<p>宝竜寺の横穴調査でも人骨が出て、その時わざわざマリアンヌから来てくださって、鑑定をしていただいたことがある。その後、もう少し大学で調べるからとのことで持って行っていると思う。</p>
梶山会長	<p>他に何かありますか？</p>
小坂委員	<p>海浜植物群落のこととフンチのことについて。</p> <p>富津の海浜植物は今ハマヒルガオが満開である。まだかつての勢いはないが、下洲と内海は大體満開状態にある。その中で、内海の方は車止めの効果によって浜に車が入っていない状態なのだが、下洲の方では、車止めがあるにも関わらず、大潮になると海岸線が広がってしまい四駆車が</p>

<p>梶山会長</p>	<p>入れてしまっているようである。海浜植物の周知板も周辺には設置していないようなので、是非対策を講じてほしい。 それからフンチ保存会の会長が文化財指定について前向きに考えているようなので、ひとつよろしくをお願いします。</p> <p>海浜植物の関係もそうであるが、まだ富津市の文化財についてはやらなければならないことが山積している。是非できるところから解決していければと考えます。 他にどなたかございませんか？ ないようですので、事務局へお返しする。</p>
<p>藤江生涯学習課長</p>	<p>長時間にわたり慎重なご審議ありがとうございました。以上をもちまして平成 24 年度第 1 回富津市文化財審議会会議を閉会いたします。</p> <p>閉 会</p>